

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 30 年度

市町村名	蕨市			
提案事業名	蕨駅東口コミュニティ・ショッピング通りのシンボルとなる末広公園改修事業			
事業期間	29 年度	～	29 年度	
事業の必要性、目的	<p>長年の間、末広公園は地域住民の憩いの場として親しまれてきたが、昭和41年の開園より50年が経過し、公園施設の老朽化が進むとともに、設置当時とは周辺の状況も大きく変化しており、地域住民が公園に求めるニーズも変化している。また、本市では、平成27年3月に県内では2市目となる中心市街地活性化基本計画の認定を内閣総理大臣より受け、各商店街が実施する活性化事業をはじめ、計画に基づいた様々な取り組みを進めている。平成28年度には、JR蕨駅東口から約400m続く東口一番街において、快適で安全な歩行空間の確保とにぎわいの創出を目的に、東口コミュニティ・ショッピング道路整備事業を実施している。</p> <p>このような状況の中、本事業は、蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路の関連事業として、本道路の終着地点となる末広公園において、商店街会員からのニーズが高いイベント広場の整備や子どもが楽しめる多目的遊具等を設置することにより、連続的かつ一体的な買い物空間の形成に加え、観光客等の回遊性の向上や、買い物に来た地域住民が集える空間としてコミュニティの活性化を図り、蕨駅東口駅前周辺全体の更なるにぎわいを創出するとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代が一緒にふれあえる公園として整備することで、子育て世代からのニーズが高い身近な公園としての魅力を高め、子育て世代の定住促進を図る事業である。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標)			
	市民意識調査における「駅周辺の整備」の満足率			
	(成果検証の具体的な方法)			
	毎年実施している市民意識調査で割合を把握する。			
	(上記の指標を設定した理由)			
	本事業は、蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路と一体的な整備を行う事業であることから、市民の「駅周辺の整備」の満足率により成果を検証する。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (28年8月現在)	22.56%	目標値 (30年8月時点)	23.63%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
	住民への公表方法及び特記事項	ホームページ		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成28年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 末広公園改修事業	<p>ワークショップでの検討内容を踏まえ、以下の改修工事を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・擁壁工事 ・植栽工事(高木植栽等(藤)) ・雨水排水管施設工事(集水樹設置) ・汚水排水設備工事(排水管及び樹設置) ・電気設備工事(ソーラー式照明及び同電波時計の設置) ・園路広場整備工事(水はけのよい路盤等整備) ・遊戯施設整備工事(公園のシンボルとなる複合遊具等の設置) ・建築施設組立設置工事(パーゴラ(藤棚用造作)及びトイレ洋式化等) ・管理施設整備工事(柵、門扉、車止め等の設置) ・サービス施設整備工事(水飲み場、ベンチ、緑台等) 	42,778
	合計	42,778

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	末広公園の整備に当たっては、蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路整備事業と同様に、地域住民とのワークショップにより方向性を検討しており、住民のニーズを反映したものとなっている。そのため、整備完了後の末広公園は、市民の満足度の上昇に寄与するものと考えられる。
成果指標の達成見込み	上記のことから目標達成は十分可能であると考ええる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。